

# 第56期事業報告書

平成13年4月1日から平成14年3月31日まで



DAITO CHEMIX



ダイトケミックス株式会社



古紙配合率100%再生紙を使用しています



地球環境に配慮した大豆油インキを使用しています

### 企業理念

わたしたちは

「快適でより豊かな社会づくり」  
を合言葉に  
「一歩先をゆく、スペシャリティ・  
ファインケミカルメーカー」  
をめざします。

そのために

「グッドマインド」  
「グッドパートナー」  
「グッドテクノ」  
を大切にしてください。

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、あたたかいご支援をいただきまして、厚くお礼申し上げます。

ここに当社の第56期（平成13年4月1日から平成14年3月31日まで）の決算を終了いたしましたので、事業の概況をご報告するにあたり、ご挨拶申し上げます。

さて、当期のわが国経済は、米国経済の景気停滞の影響を受けるとともに、民間設備投資の減少や雇用不安の拡大による個人消費の低迷が続き、また、景気の先行き不透明やデフレ懸念など、極めて厳しい状況で推移いたしました。

当社に関連する業界におきましては、半導体業界は、昨年初めからの米国の情報技術（IT）関連投資の大幅な減速を受け、エレクトロニクスメーカーに大きな打撃を与えました。同時に、韓国、台湾の攻勢が強まり、大幅な価格低下を伴う熾烈な競争を展開しており、その影響を受けてレジストメーカーも同様に激しいシェア争いを繰り広げております。

写真業界は、デジタルカメラの出荷台数が従来型カメラを上回り、カラーフィルムの生産量に影響が出始めてきましたが、印画紙の生産量はむしろ増加傾向にあります。しかし、世界的な価格競争の激化により、フィルム、印画紙の製品価格が低下し、写真材料はマイナス成長となりました。一方で、デジタル対応型のミニラボシステムの導入台数は増加しており、また、医療用レントゲンフィルム分野においてはデジタル化が進行するなど、新しいシステムの成長に大きな期待が寄せられております。

医薬品業界は、高齢化に伴う生活習慣病関連医薬品などを中心に国際的な新薬開発競争が行われ、合併や共同開発が積極的に進められるとともに、わが国においては薬事法の改正や薬価引き下げにより、これまで以上に経営資源の



代表取締役

村瀬千弘

集中化とコスト低減を図る目的で生産のアウトソーシングが活発化しております。これを受けて、医薬中間体業界では、グローバルな競争が激しく展開されております。

また、染色加工業界は、海外への加工のシフト、安価な海外繊維製品の輸入拡大がさらに進んでおり、低迷状態が続いております。

このような状況の中で当社は、営業活動に全力をあげるとともに、次世代対応の感光性材料の開発をはじめ、写真材料、医薬中間体の新製品開発に積極的に取り組みました。しかしながら、IT不況による感光性材料の販売数量の大幅減少、写真材料、医薬中間体の在庫調整、その他化成品の価格下落により、売上高は大幅に減少いたしました。

この結果、当期の売上高は、前期比33.4%減の106億38百万円となりました。

この大幅な売上減少に対応するため、原料価格の値下げ、経費の削減、総労務費の削減など売上原価低減に全社をあげて鋭意取り組みましたが、経常損失は7億30百万円となり、まことに残念ながら創業以来二度目の赤字となりました。

一方で、総資産圧縮などに取り組み、特別利益を1億38百万円、特別損失を1億12百万円計上いたしました結果、当期損失は、4億20百万円となりました。

総資産の圧縮を図るため借入金の返済や株式などの売却を進めました結果、総資産は206億70百万円と前期比約44億円減少いたしました。

なお、企業活動の基盤整備の一環として、すでに全工場ですべてISO 9002を認証取得し、品質保証体制を整えています。また環境保護として、大阪工場に続き、当期は静岡工場、福井工場ですべてISO 14001を認証取得し、全工場ですべて認証取得いたしました。

今後の見通しにつきましては、米国経済の動向に明るい材料が増えてきており、また、国内においても景気が底入れし、平成14年度は世界的に緩やかな回復に向かうものと思われま

す。当社に関連する業界におきましては、技術革新に伴う新製品開発競争はますます激しくなるとともに、グローバルな競争が、より激化するものと思われま

す。このような状況に対して、平成14年度は、利益体質への転換を果たし、経常利益の黒字化に集中して取り組んでまいります。平成14年度から始まる中期3カ年において、既存事業分野の拡販と新製品開発の促進、トータルコストダウンの推進、人事制度の再構築を3本柱とする「再生

プラン」をスピードある運営で推進し、国際競争に生き残れるコスト構造への転換を図っていく所存でございます。

新製品開発の取り組みにつきましては、次世代対応の感光性材料、医療用など新しいニーズに対応した写真材料の開発とともに、医薬中間体分野を第三の柱に育成すべく、積極的に開発を進めてまいります。また、これらの分野の開発促進のために福井工場に完成いたしました医薬試作工場および静岡工場に完成いたしましたS-6工場を活用し、開発を促進してまいります。

トータルコストダウンの取り組みにつきましては、生産ラインの再編成による生産性の向上、生産体制の変更、低価格原料の調達、省エネルギーによる製造経費の削減、外部戦力の活用などを積極的に進め、よりスリムなコスト構造を目指してまいります。また、資産の効率化のために在庫削減を推し進めるなど、業績の回復に向けて邁進していく所存でございます。

人事制度の再構築への取り組みにつきましては、社員の能力、成果を反映する新賃金制度の導入などを積極的に進めてまいります。

また、事業の展開にあたっては、環境保護を基本におき、使用資源の削減、回収、再資源化に全社をあげて、積極的に取り組んでまいります。

なお、当期はまことに遺憾ながら損失計上に至り、減配とさせていただきますが、業務執行における意思決定の迅速化と結果責任の明確化を図るため、執行役員制度を導入し、先ほど述べました「再生プラン」をやりとげ、黒字転換を目指す決意でございますので、株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成14年6月

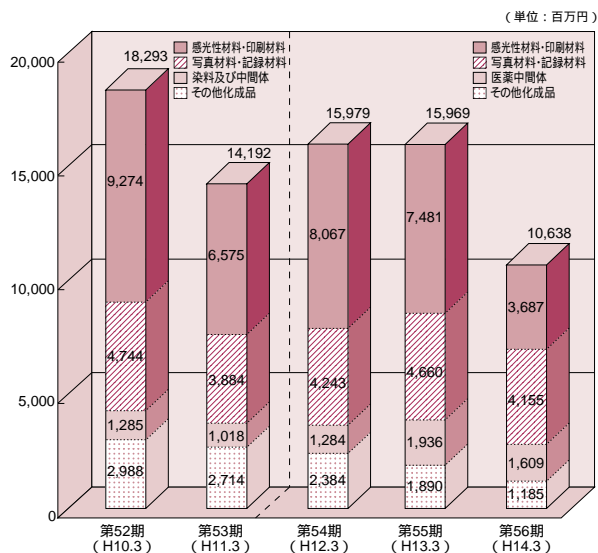
## 営業成績および財産の状況の推移

区 分	第53期	第54期	第55期	第56期(当期)
売上高(百万円)	14,192	15,979	15,969	10,638
当期利益〔損失〕(百万円)	373	380	541	420
1株当たり当期利益〔損失〕	31.22円	31.94円	45.48円	37.06円
総資産(百万円)	23,921	25,937	25,070	20,670
純資産(百万円)	14,599	14,942	15,538	14,258
1株当たり純資産	1,226.82円	1,255.70円	1,305.74円	1,263.09円

(注) 当期より1株当たり当期利益は、期中平均発行済株式総数から期中平均自己株式数を控除した株式数を用いて算定し、1株当たり純資産は、期末発行済株式総数から期末自己株式数を控除した株式数を用いて算定しております。

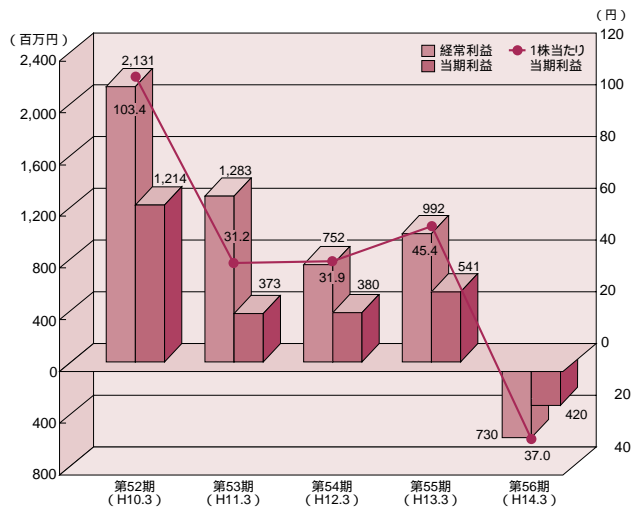
# 業績の推移と主な経営指標

## 品目別売上高

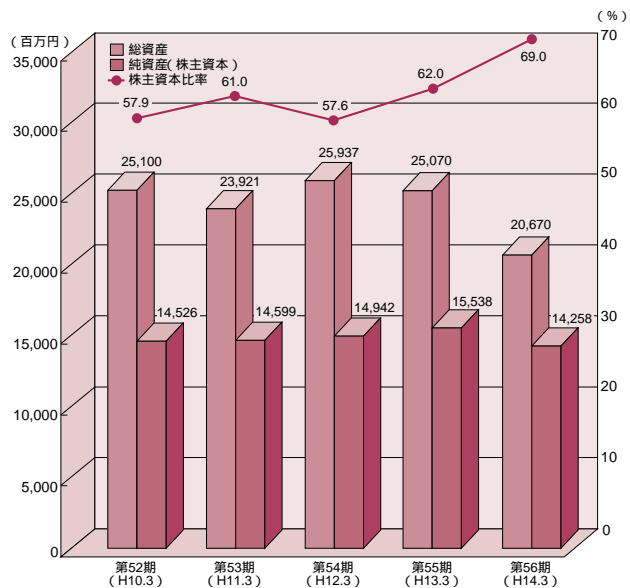


(注) 第54期から品目区分を変更し、「その他化成産品」に含んでいた「医薬中間体」を独立品目とし、「染料及び中間体」を「その他化成産品」に含めることいたしました。

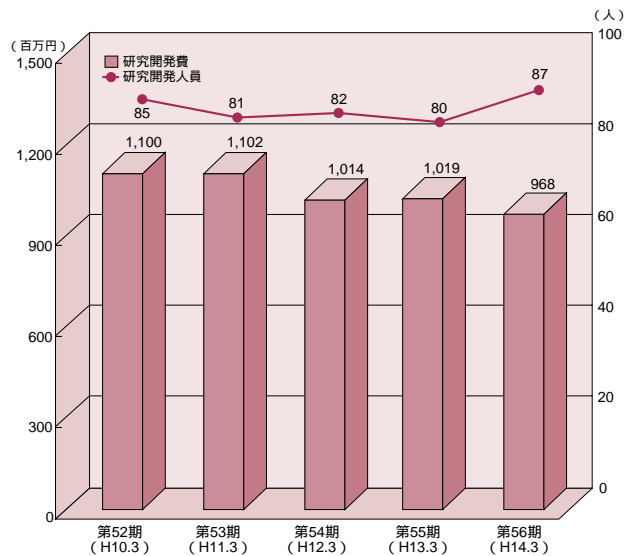
## 経常利益・当期利益・一株当たり当期利益



## 総資産・純資産・株主資本比率



## 研究開発人員・研究開発費の推移



## 貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	
	当 期 平成14年3月31日現在	前 期 平成13年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>	<b>(20,670)</b>	<b>(25,070)</b>
流動資産	9,133	12,317
現金及び預金	2,903	2,338
受取手形	740	974
売掛金	1,426	1,501
有価証券	3,763	3,763
たな卸資産	3,474	3,483
繰延税金資産	179	146
その他	410	109
固定資産	11,536	12,752
有形固定資産	10,207	10,686
建物	3,087	2,929
機械及び装置	3,499	3,428
土地	2,427	2,423
建設仮勘定	68	634
その他	1,124	1,270
無形固定資産	93	71
投資等	1,235	1,994
投資有価証券	584	932
自己株式	505	505
その他	651	556
<b>資産合計</b>	<b>20,670</b>	<b>25,070</b>
<b>(負債の部)</b>	<b>(6,412)</b>	<b>(9,532)</b>
流動負債	3,128	6,734
支払手形		18
買掛金	570	1,242
短期借入金	1,461	3,809
未払金	554	985
未払法人税等		45
その他	541	633
固定負債	3,283	2,797
長期借入金	2,777	1,735
退職給付引当金	267	859
その他	239	203
<b>(資本の部)</b>	<b>(14,258)</b>	<b>(15,538)</b>
資本金	2,901	2,901
法定準備金	4,666	4,654
剰余金	7,150	7,728
(うち当期利益(損失))	( 420 )	( 541 )
その他有価証券評価差額金	88	253
自己株式	548	-
<b>負債・資本合計</b>	<b>20,670</b>	<b>25,070</b>

## 損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	
	当 期 (自平成13年4月1日 至平成14年3月31日)	前 期 (自平成12年4月1日 至平成13年3月31日)
<b>(経常損益の部)</b>		
営業損益の部		
売上高	10,638	15,969
売上原価	9,720	13,013
売上総利益	917	2,955
販売費及び一般管理費	1,636	1,885
営業利益(損失)	718	1,069
営業外損益の部		
営業外収益	140	143
営業外費用	152	220
経常利益(損失)	730	992
<b>(特別損益の部)</b>		
特別利益	138	62
特別損失	112	102
税引前当期利益(損失)	704	953
法人税、住民税及び事業税	16	55
法人税等調整額	300	356
当期利益(損失)	420	541
前期繰越利益	295	287
中間配当額	34	91
中間配当に伴う利益準備金積立額		9
当期末処分利益(未処理損失)	160	728

### 貸借対照表注記

- 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
- 有形固定資産の減価償却累計額 18,406百万円
- 担保に供している資産
  - 有形固定資産 1,596百万円
  - 投資有価証券 24百万円
- 子会社に対する金銭債権及び金銭債務
  - 短期金銭債権 177百万円
  - 短期金銭債務 235百万円
- 重要な外貨建資産
  - 売掛金 133百万円
  - 預金 76百万円
 (1,579千米ドル)
- 保証債務残高 2百万円
- 1株当たり当期損失 37円06銭
- 商法第290条第1項第6号に規定する純資産額 88百万円

### 損益計算書注記

- 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
- 子会社からの仕入高 694百万円
- 子会社との営業取引以外の取引高 174百万円

## 利益処分

(単位：円)

科目	期別	56期(当期)	55期
当期末処分利益(未処理損失)		160,164,397	728,338,985
補助金等圧縮積立金取崩額		54,419,417	70,067,337
特別償却積立金取崩額		13,051,330	13,224,000
保険差益圧縮積立金取崩額		4,859,098	6,478,798
別途積立金取崩額		400,000,000	
合計		312,165,448	818,109,120
これを次のとおり処分いたします。			
利益準備金			12,000,000
利益配当金		33,865,197 普通配当1株につき3円	91,108,480 普通配当1株につき8円
役員賞与金 (うち監査役賞与金)			20,000,000 (1,400,000)
別途積立金			400,000,000
次期繰越利益		278,300,251	295,000,640

(注)平成13年12月10日に34,169,400円(1株につき3円)の中間配当を実施いたしました。

## 会社の概況

(平成14年3月31日現在)

商号 **ダイトケミックス株式会社**  
(英文名: Daito Chemix Corporation)

本社所在地 **大阪市鶴見区茨田大宮三丁目1番7号**

設立 **昭和24年12月2日**

資本金 **2,901,163,150円**

社員数 **305名**

主な営業品目 **感光性材料、写真材料、医薬中間体、印刷材料、記録材料、染料及び中間体、その他化成品**

事業所 **東京営業所 東京都中央区日本橋人形町二丁目15番1号**

**大阪工場 大阪府大東市諸福八丁目3番11号**  
**大阪市鶴見区茨田大宮三丁目1番7号**

**静岡工場 静岡県小笠郡大東町浜野3110**

**福井工場 福井県福井市石橋町31字118**

## 役員

(平成14年6月25日現在)

**取締役**

代表取締役 **村瀬千弘**

取締役 **安田稔**

取締役 **入岡修一**

取締役 **小宮希士**

**監査役**

常勤監査役 **山中俊彦**

監査役 **越智賢三**

監査役 **桑原豊**

**執行役員**

執行役員社長 **村瀬千弘**

執行役員 **安田稔** (大阪工場長、福井工場担当)

執行役員 **入岡修一** (営業部長、技術開発部門担当)

執行役員 **小宮希士** (総務部長)

執行役員 **内田光則** (QA・RC推進部長)

執行役員 **福村俊郎** (静岡工場長)

執行役員 **二宮榮規** (経理部長)

(注)第56期定時株主総会後の取締役会で、業務執行における意思決定の迅速化と結果責任の明確化を図るため、執行役員制度を導入いたしました。



大阪工場



静岡工場



福井工場

## トピックス

### 本社移転

当社は、本年2月25日、経営の効率的運営を図るため、本社を大阪市福島区から大阪市鶴見区に移転いたしました。



### 福井工場でISO14001認証取得

当社は、事業の展開にあたっては、環境保護を基本に置き、使用資源の削減、回収、再資源化に全社をあげて積極的に取り組んでおります。

大阪工場、静岡工場に続き本年2月にISO14001の認証を取得し、全工場での認証取得となりました。



登録証

#### 《認証内容》

対象範囲	感光性材料の製造及び医薬中間体の設計及び製造
構内関連企業	ディー・エス・エス(株) 福井事業所
認証機関	財団法人品質保証機構(JQA)
登録日	2002年2月8日

### 福井医薬試作工場完成

昨年9月、福井工場内に、医薬中間体の試作専用工場が完成いたしました。今後、より一層多様なニーズに対応し新製品開発のスピードアップを図ってまいります。



福井医薬試作工場

### 静岡S-6工場完成

昨年10月、静岡工場内に、写真・記録材料および化成品対応のマルチ工場が完成いたしました。今後の需要拡大に機動的に対応してまいります。



静岡S-6工場

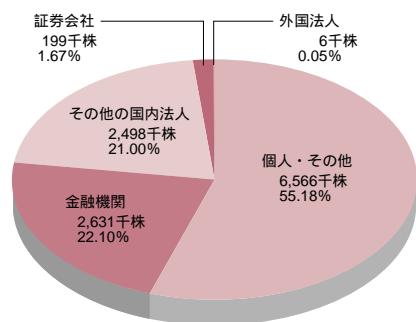
## 株式の状況

(平成14年3月31日現在)

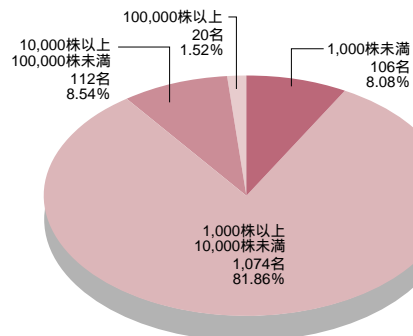
**会社が発行する株式の総数** 47,900,000株  
**発行済株式の総数** 11,900,000株  
**株主数** 1,312名  
**大株主**

株主名	所有株式数	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合
ダイソーケミックス社員持株会	628千株	5.28%
株式会社三井住友銀行	595	5.00
東京応化工業株式会社	522	4.39
住友商事株式会社	503	4.23
日本生命保険相互会社	499	4.20
株式会社新生銀行	482	4.05
竹中一雄	475	4.00
富士写真フイルム株式会社	439	3.69
住友生命保険相互会社	368	3.09
農林中央金庫	247	2.08

### 所有者別株式分布状況



### 所有株数別株主分布状況



## 株主メモ

**決算期** 3月31日  
**定時株主総会開催時期** 6月  
**株主確定日**  
**定時株主総会** 3月31日  
**利益配当金** 3月31日  
**中間配当金** 9月30日  
 (そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。)  
**公告掲載新聞** 日本経済新聞  
**名義書換代理人** 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号  
 東京証券代行株式会社  
**同事務取扱場所** 大阪市中央区北浜三丁目5番29号  
 東京証券代行株式会社 大阪営業所  
**同取次場所** 東京証券代行株式会社 本店および  
 全国各取次所  
**インターネット  
ホームページアドレス** <http://www.daitochemix.co.jp>  
**上場証券取引所** 株式会社大阪証券取引所 市場第2部  
**証券コード** 4366